

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

		事業番号	0145/150715/01/04		事業の種類	4		
年度	19	事務事業名	生きがいセミナー参加支援事業		作成日	平成21年1月20日		
		予算事業名	高齢者生きがい対策事業		担当部課名	健康福祉課		
		政策名	すこやかに暮らせる、心かようまちづくり					
		施策名	高齢者福祉		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	生きがいセミナー参加者のうち会場までの交通手段が脆弱な者						
	誰(何)を対象として	セミナー参加の支援						
	意図(どのような状態にしたいのか)	往路のみセミナー会場までの送迎を行う。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		生きがい交流センターで実施の生きがいセミナー参加者の参加支援を行うため、教育委員会所有の通学バスの空き時間を利用し、週2回往路のみ送迎を行う。				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	運行日数	日	-	-	86	95
	延べ利用者数	人	-	-	777	950

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.040	0.040	100.0	0.005	12.5	0.005	100.0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,313,648	1,057,554	80.5	783,090	74.0	740,632	94.6	
	事業費			-	486,665	#####	542,000	111.4	
	合計	1,313,648	1,057,554	80.5	1,269,755	120.1	1,282,632	101.0	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,313,648	1,057,554	80.5	1,269,755	120.1	1,282,632	101.0	
	合計	1,313,648	1,057,554	80.5	1,269,755	120.1	1,282,632	101.0	

4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ利用者数							
指標説明(式)		延べ利用者数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
人	目標	-	-	#####		-	950	#####	
	実績	-	-	#####	777	#####			

指標名2		運行日数							
指標説明(式)		運行日数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
日	目標	-	-	#####		-	95	#####	
	実績	-	-	#####	86	#####			

【効率性】

指標名1	1日当たりの乗車人数
------	------------

指標説明(式)		延べ利用者数／運行日数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績	—	—	#####	9	#####	10	111.1	

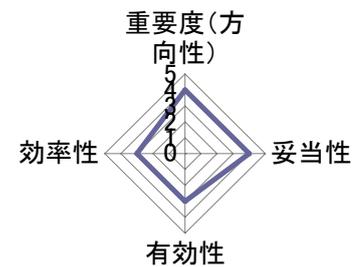
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	家での閉じこもりを防止する上でバスを運行しセミナー参加の支援を行なうことは妥当である。	4	4
	市民ニーズ	交通の足がなくセミナーに参加できなかった市民にとってのニーズは高い。		
有効性	市民サービス	中学生の通学が優先であるため、往路のみの運行となっていること、また学校行事等により、運行休止等が生じることから必ずしも市民サービスが高いとはいえない。	3	3
効率性	手段の最適性	限られた時間の中で、効率よく運行できるよう引き続き検討していく必要がある。	3	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	燃料高騰もあり、効率的で最適な運行ルートの見直しが必要である。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	負担割合の適正化	利用者負担金のあり方を検討。
H19→H20予算反映額		

(2) 20年度の実施方針

継続実施

検討の有無	—
総合指標	20